



いばらき県議会だより

No.194

茨城県議会

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>
「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



平成27年第4回定例会の様子



茨城県議会議事堂

迎春

2016年



改革で未来を拓く県議会

第百七代

茨城県議会議長 小川 一成

新年あけましておめでとうございます。昨年十二月の第四回定例会におきまして、第百七代議長に就任いたしました。職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

本県は、一層の激化の様相を呈する地域間競争の下、災害に強い県づくりはもとより、産業のさらなる振興、超高齢社会に向けた医療・介護の充実、地域における活力の創出など複雑かつ多様な課題に直面しております。

こうした競争に打ち勝ち、冠たる地位を確立していくためには、独創的な発想と深い知恵とをもって、これら諸課題に対し、立ち向かっていかなければなりません。とりわけ、刻一刻と変容を遂げる昨今の世界情勢を考慮

すれば、国際的視野に立った政策展開の必要性は、一層、高まるものと考えます。

地方分権の進展に加え、地方創生の道筋を拓く観点からさらなる創意・工夫が求められる局面を迎え、地方自治の本旨に適う自主・自立の確立に向け、その一翼を担う県議会の職責は格段に重大になっていきます。議会改革の歩みを確実に進めるとともに、政策立案機能のさらなる充実・強化に努めてまいります。

県議会は、「改革で未来を拓く県議会」をモットーとして、郷土いばらきの輝かしい未来に向け、力を尽くしてまいります所存であります。県民の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

課題解決に向け

自由・闊達な議論を

第百九代

茨城県議会副議長 川津 隆

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第四回定例会におきまして、第百九代副議長に就任いたしました。責任の重大さを感じ入るところであります。

さて、昨年九月の「関東・東北豪雨」は、本県に甚大な被害をもたらしました。早期の復興は勿論のことですが、引き続き、被災された方々の実情に即した生活再建策を丁寧な講じていくとともに、災害に強い県づくりを強力に推し進めていかなければなりません。

また、県内経済は決して予断を許す状況にはありません。中小企業対策などに力を注ぐとともに、進展を見せる広域交通網や先端科学技術の集積、高品質な農産物など、本県の強みを存分に活かして、厚みのある産業の集積につなげていく必要があると考えます。

さらには、医療・介護の充実が喫緊の課題となっております。健やかで生きがいに満ちた生活が送れますよう、医療・介護の現状をしっかり把握しながら、その充実に最大限の力を尽くしてまいります。

こうした状況下、これら多様な諸課題に迅速かつ的確に対応していくためには、自由・闊達、そして発展的な議論が尽くされなければなりません。小川議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります所存であります。

県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十七年十一月臨時会を開催

平成二十七年十一月十六日に臨時会を開催しました。概要は、第二面をご覧ください。

今定例会の概要

平成二十七年第四回定例会は、十二月一日から十五日までの十五日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県がん検診を推進し、がん向き合うための県民診療条例、私学助成の充実強化等に関する意見書など、知事から、平成二十七年茨城県一般会計補正予算、茨城県文化振興条例などが提出されました。

一般質問は、教育委員の辞職を巡る対応と今後、関東・東北豪雨を踏まえた大規模災害時の避難のあり方などの項目について行われました。(三～四面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事項に関する質問を行い、県北芸術祭開催概要発表会の開催予定、災害などの危機管理で大事なこと、動物愛護における猫への対策、茨城港を活用した輸出拡大、県道谷和原筑西線の開通の見通し、教育委員の障害児に関する発言での信頼回復の取り組みなどを議論しました。(五面)

決算特別委員会は、平成二十六年年度決算の認定議案などについて審査しました。(七面)

地方創生に関する調査特別委員会は、活力と潤いに満ちた郷土いばらきを創生するため、多岐にわたる提言を盛り込んだ最終報告書をまとめました。(七面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、意見書、決議、請願など七十件の議案などが可決、同意、認定、採択されました。

十一月臨時会
日程および概要

日程
平成27年11月16日(月)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- ・採決
- ・閉会

概要

平成二十七年十一月臨時会は、十一月十六日の一日間の日程で行われました。

議案は、知事から平成二十七年九月関東・東北豪雨に係る平成二十七年補正予算などが提出されました。

代表質疑は、被災者個人への支援制度、八間堀川などの県西地域の河川整備の方向性、被災中小企業への支援強化、被災者支援システムの導入、住宅の再建などについて行われました。

今回の臨時会では、予算、報告、請願の五件の議案が、可決、承認、採択されました。

代表質疑者一覧

- 神達 岳志 (いばらき自民党)
- 飯田 智男 (自民県政クラブ)
- 齋藤 英彰 (民主党)
- 井手 義弘 (公明党)
- 山中 たい子 (日本共産党)

代表質疑



神達 岳志 議員
いばらき自民党
常総市選出
一括方式

被災者個人への支援制度

議員 関東・東北豪雨により、県民の生命・財産・生活が多大な影響を受けた。今回の補正予算における半壊世帯に対する支援制度の考え方は。

知事 今回の災害では、半壊世帯においても、被災者の負担が大きいことから、特例的に独自の支援措置を講ずることとした。住宅の応急修理制度では、所得制限を撤廃し、被災者生活再建支援制度では、支援を拡大し、二十五万円の支援を行うこととした。

農地復旧のための支援

議員 被災した農地には、未だに多くのがれきなどが散在する。平成二十八年度の作付けに間に合うようにするため、国や市町、土地改良区などと協力して農地の復旧を具体的にどのような工程で進めていくのか。

知事 事業主体となる市町などに対し、工事の施工に際して必要な助言・指導を行うなど、引き続き支援を行うとともに、地元土地改良区などの関係機関や大規模担い手農家などとも連携を密にしなが、平成二十八年春の作付けに向けて農地の復旧を進めていく。
(ほかに、被災した中小企業の事業継続のための支援、二重債務問題への対応なども質疑)



飯田 智男 議員
自民県政クラブ
常総市選出
一括方式

八間堀川などの県西地域の河川整備の方向性

議員 八間堀川などの県西地域における県管理河川について、どのように整備を進めていくのか、また、国管理の鬼怒川の整備促進に向けて、どのように取り組むのか。

知事 河川事業の予算確保を国に強く働きかけるとともに、近年、大きな浸水被害のあった河川などを優先し事業の重点化を進めていく。鬼怒川は、国に河川激甚災害対策特別緊急事業の適用を強く要請する。
(ほかに、県独自の被災者生活再建支援制度、県立高校等の復旧なども質疑)



齋藤 英彰 議員
民主党
日立市選出
一括方式

被災中小企業への支援強化

議員 使い勝手の良いグループ補助金※のような思い切った支援制度の創設などを含め、被災中小企業に対し、今後どのように支援を強化していくのか。

知事 緊急対策融資の創設、信用保証料の補助、被災した機械、設備の修繕費用への補助など手厚い支援措置を講じることとした。グループ補助金のような支援制度は、県単独で行うことは困難であることから、引き続き、国へ助成制度の創設などを要望していく。
(ほかに、被災者への生活再建支援、このころのケアなども質疑)



井手 義弘 議員
公明党
日立市選出
一括方式

被災者支援システムの導入

議員 市町村の被災者支援システムを平時から充実させ、発災時には速やかに確かな支援体制を構築すると同時に、マイナンバー制度を被災者支援に活用すべきと考えるが、所見は。

知事 県と防災科学技術研究所との間で包括連携協定を締結し、発災時の的確な被災者支援体制の構築に努めていく。また、被災者台帳の作成にマイナンバーを利用することにより、迅速に被災者を支援できる体制を整えていく。
(ほかに、被災者支援の充実についても質疑)



山中 たい子 議員
日本共産党
日立市選出
一括方式

住宅の再建

議員 半壊も床上・床下浸水も大規模半壊と同等に支援すべきである。また、応急修理制度の限度額を増額し、修理代金をすでに支払った方にも領収書添付により遡って支給すべきだが、所見は。

知事 今後、被害認定の基準などの改正を検討するよう国に要望していく。また、県の応急修理制度では、国による所得の低い方への支援と不均衡が生じないよう代金精算済みの方を対象外としており、限度額の増額も難しいと考えている。
(ほかに、農業・商工業の再建、堤防整備予算の増額なども質疑)

平成二十七年十一月臨時会で可決された議案

- ◆平成二十七年補正予算関係
 - 一般会計予算
 - 水道事業会計予算
 - 流域下水道事業会計予算
 - ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
- 採択された請願 (全文はホームページでご覧になれます)
○豪雨等による浸水被害世帯に対する独自の支援制度の創設等を求める請願

AED(自動体外式除細動器)及び心肺蘇生法に係る講習会を開催しました

県議会では、議員提案により施行された「茨城県AED等の普及促進に関する条例」に基づき、県議会議員を対象に、AED及び心肺蘇生法に係る講習会を二回開催しました。第一回目の十月十五日には三十二名、第二回目の十一月五日には十三名、合計四十五名の参加がありました。

講習会は、一般社団法人水戸地区救急普及協会から講師をお招きし、六班に分かれて行われました。まず、DVDで救命処置の意義などを学んだ後、胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸の方法を人形を使用して実習しました。その後、AEDの使用法について講義を受け、実際にAEDなどを使用して、一次救命処置の手順を実習しました。

今後も、年に一回程度開催していく予定です。



講義を受ける議員の様子(10月15日)



人形を使って実習を行う議員の様子(11月5日)

※【河川激甚災害対策特別緊急事業】…概ね5年間で緊急的・集中的に河川整備を行う事業。
※【グループ補助金】…中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に応募し、認定を受けた事業者のグループに対して交付される補助金(東日本大震災の際に創設)。

第4回定例会の主な日程

平成27年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 12月1日(火) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 12月4日(金) 本会 議
- 7日(月) (一般質問・質疑)
- 12月8日(火) 常任委員会
- 12月10日(木) 地方創生に関する調査特別委員会
- 12月11日(金) 決算特別委員会
- 12月15日(火) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

教育委員の辞職を巡る対応と今後



先崎 光 議員
いばらき自民党
那珂市選出
分割方式

議員 教育委員が障害者を差別するような発言で辞職したことへの知事の任命責任と今後の対応は、後任について福祉施策などに見識ある人物から選ぶべきと考えるが、**知事** 任命責任は私にあり、また、私の発言により、多くの皆様に不快感や苦痛を与え深くお詫び申し上げます。特別支援教育や福祉施策にこれまで以上に熱心に取り組み、充実させていくことで責任を果たしていく。後任については、提案などを踏まえ、人選を進めていく。

質問者

- 12月4日(金) 先崎 光 (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (民 主 党)
- 磯崎 達也 (いばらき自民党)
- 長谷川 重幸 (いばらき自民党)
- 12月7日(月) 田口 伸一 (いばらき自民党)
- 志賀 秀之 (いばらき自民党)
- 飯田 智男 (自民県政クラブ)
- 西野 (いばらき自民党)



齋藤 英彰 議員
民 主 党
日立市選出
一括方式

関東・東北豪雨を踏まえた大規模災害時の避難のあり方
議員 今回の大規模災害を踏まえ、その検証結果や教訓をフィードバックするなど、市町村の災害に備えた体制整備が進むよう、支援を強化する必要があると考えるが、**知事** 常総市の検証結果などについて、災害対応勉強会で他の市町村と共有し、災害時における対応をシステム化するとともに、市町村域を超えた広域的な避難が迅速にできるよう避難所の指定状況の点検を進め、市町村間の調整を図るなど仕組みづくりを進めていく。

農地の集積・集約化

議員 担い手への農地の集積・集約化を促進するため、農地中間管理事業を今後、どう進めていくのか。

農林水産部長 これまでの機構推進員の活用やモデル地区での重点的な取り組みに加え、新たに農業委員会に設置される農地利用最適化推進委員との連携や市町村ごとに集積努力目標を設定するなど、関係機関と一体となり、担い手への農地の集積・集約化を進めていく。
(ほかに、関東・東北豪雨災害を踏まえた防災体制の強化と河川整備、道の駅の推進なども質問)



農地の集積・集約化に向けた地域での話し合い

新たな地域資源を活用した県北地域の活性化

議員 県北地域の活性化のため、道の駅を活用した広域的なサイクリングコースの設定・整備も交流人口の拡大に有効だと考えるが、**企画部長** 久慈川サイクリングコースを活用し、日立市から常陸大宮市を巡るイベントを今年三月に開催する予定であり、今後も久慈川サイクリングコースや道の駅の有効な活用方を地元市町村と協議し、連携して取り組んでいく。

(ほかに、県立こころの医療センターの充実、茨城国体に向けた選手強化策なども質問)



久慈川サイクリングコースが期待される有効活用



長谷川 重幸 議員
いばらき自民党
東茨城郡南部選出
一括方式

農業分野におけるTPPへの対応策
議員 TPPが本県の農業に与える影響は大きいと予想される中で、農業者の不安を払拭するため、県としてどのような対策を検討していくのか。
知事 今後、国からTPPへの具体的な対策などが順次示されるので、それらを踏まえ、適切に対応していく。県では現在新たな茨城農業改革大綱の策定を進めており、その中でできる限り必要な対策を位置付け、持続的に発展できる茨城農業を目指していく。

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっております。
○一括方式
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
○分割方式
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

病児保育の拡大



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出
一括方式

議員 子育て中の母親が安心して働き続けることができるように、病児保育を整備していく必要があると考えるが、所見は。
知事 開設費や運営費に対する補助を行っているが、事業者の負担軽減を図るため国に補助の拡充を要望していく。また、市町村と連携し、医師会や医療機関などに働きかけるほか、必要に応じて複数の市町村が協力して実施できるように働きかけるなど、病児保育を実施する施設の整備を進めていく。

県道水戸那珂湊線の整備

議員 国営ひたち海浜公園と那珂湊おさかな市場をつなぎ、沿線に観光資源も多い本路線の整備は、観光振興や地域活性化の起爆剤になると考えるが、整備見通しは。
土木部長 これまで地元や関係機関と道路計画について検討してきたおり、今後も引き続き、これら関係者と十分協議を重ね、できるだけ早期に道路計画を確定し、事業化できるように努めていく。

(ほかに、放課後児童クラブの拡大、犬猫殺処分ゼロに向けた動物愛護教育の推進なども質問)



太平洋を一望できる県道水戸那珂湊線(ひたちなか市)

潤沼を活かした観光振興

議員 潤沼がラムサール条約湿地に登録されたことで、茨城町でも独自の観光誘客の取り組みを始めている。潤沼を県内外に広くアピールできる最良の機会だが、県として観光振興にどう取り組むのか。
商工労働部長 潤沼周辺地域は、豊かな自然やヤマトシジミなど全国に誇れる食資源、水上スポーツ体験など魅力溢れる資源がある。こうした地域資源を広く情報発信するとともに、誘客の促進に取り組む。

(ほかに、国体の花いっぱい運動、国道六号の四車線化なども質問)



潤沼でのしじみ漁 (提供 茨城町)

県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入するだけで傍聴できますので、是非お越しください。
また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧いただけます。
なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をお気軽にお声をお掛け下さい。
その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先
電話 029-301-5634

一般質問(要旨)



田口 伸一 議員
いばらき自民党
鹿嶋市選出
一括方式

鹿島港・茨城港における整備と振興

議員 我が国の経済を支え、本県の発展にも欠かすことのできない鹿島港・茨城港について、各港の整備や振興にどう取り組むのか。
知事 鹿島港は、物流コスト低減対策を企業から強く要請されており、航路水深維持や防波堤整備などを国と協議しながら進めるとともに、船会社に航路開設の働きかけを強めていく。茨城港は、完成自動車の取扱い増加などの利用ニーズに対応するため、岸壁の整備など機能拡充を図っていく。

茨城県の水素戦略
議員 今年度中の「いばらき水素戦略」の策定に向け、どのような視点で進めていくのか、また、水素社会の実現に向けてどのような取り組みを進めていくのか。
企画部長 戦略は、水素の利活用促進、研究開発の促進および新たなビジネスの創造支援、県民理解の促進などを視点に策定を進め、戦略に基づき、水素ステーションの整備検討など、水素先進県を目指す。各種取り組みを進めていきたい。
(ほかに、鹿行地域の観光振興、高齢者への通院支援なども質問)



整備が進む鹿島港



志賀 秀之 議員
いばらき自民党
北茨城市選出
一括方式

原発事故による県の東京電力への損害賠償請求

議員 原発事故に伴う東電から本県への損害賠償については、約三十九億という低い支払率にとどまっているが、今後、東電に対してどのような姿勢で臨んでいくのか。
知事 本県が他県に比べて極端に遅れていることはないとの説明を受けているが、引き続き、早急な支払いに向けて働きかけていく。また、東電との協議の中で、支払いが困難と判断される事案が出てきた場合には、原発ADR※への申し立てについても検討していく。

ジェット口茨城を活用した輸出促進

議員 TPPの大筋合意を契機として、県や市町村が産業振興のためにジェット口茨城と連携を深めることは、課題の一つである。ジェット口茨城を活用して、今後どのように輸出を促進していくのか。
商工労働部長 今後はジェット口茨城において、市町村ごとにジェット口活用セミナーを開催する予定である。県においても、市町村などと一層連携を強化し、本県の輸出促進に全力で取り組んでいく。
(ほかに、海岸線の保全、県産材の利活用拡大なども質問)



海外バイヤーによる産地視察の様子(提供:ジェット口茨城)



飯田 智男 議員
自民県政クラブ
常総市選出
分割方式

総合防災訓練のあり方

議員 今後の総合防災訓練は関東・東北豪雨災害などを踏まえ、水害も災害想定に含めるとともに、多くの県民などに参加を呼びかけ、防災意識の醸成や向上に努めるべきであると考えているが、所見は。
知事 総合防災訓練における災害想定は、訓練を開催する市町村の地域特性や新たな課題に対応する内容としている。今後、市町村や自主防災組織と連携し、水害も災害想定に取り入れて訓練を行い、住民の防災意識の向上に取り組む。

河川工作物の適正な管理
議員 今回の水害で、常総市の新八間堀川にある樋管※の管理者が不明確で川の水位が逆流し、市街地が浸水した。こうした河川工作物の適正な管理にどう取り組むのか。
土木部長 今回問題の樋管は、常総市と協議し、市が管理を行う方向で手続きを進めている。他の県管理河川の樋管も実態調査を行い、管理者の特定や操作体制の整備など適正な管理を図っていく。
(ほかに、災害対応におけるNPOなどの連携、避難所での段ボールベッドの利用促進なども質問)



総合防災訓練の様子



西野 一 議員
いばらき自民党
常陸太田市選出
分割方式

国際展開政策を支える人材の育成

議員 国際展開においては、海外で経験を積んだ職員が必要であるが、若手の海外派遣が少なく、実務を担う年代の人材の枯渇が懸念される。国際展開政策を支える人材の育成について、所見は。
知事 国際展開を効果的に実施するには、海外での活動を経験した職員の存在が重要である。このため、在外公館などへの派遣に加え、既存制度の活用促進や充実を図り、若手職員の派遣を中心に検討しながら積極的に取り組んでいく。

高等学校における選挙権年齢引き下げに向けた取り組み

議員 選挙権年齢の引き下げの適用に向け、高校生の有権者としての当事者意識、主体的に政治参画する態度を育成するため、どのような教育を行っていくのか。
教育長 当事者意識などを育成するためには、議会傍聴や模擬選挙のような実践的な学習が有効である。全ての学校が足並みを揃えて積極的に取り組めるように学校を支援していく。
(ほかに、太陽光発電施設の安全な導入、空き家の有効活用なども質問)



本会議の傍聴に訪れた高校生

今定例会で可決された議案

- ◆議員提出
 - 茨城県がん検診を推進し、がん向き合うための県民診療条例
 - ◆意見書・決議
 - 拉致被害者の即時帰国に向け、国家に関わる全ての責任において直ちに国民に見える形で直接行動を求める決議
 - 私学助成の充実強化等に関する意見書
- ◆知事提出
 - ◆平成二十七年補正予算関係
 - 一般会計予算
 - 港湾事業特別会計予算
 - 病院事業会計予算
 - 鹿島臨海都市計画下水道事業会計予算
 - 流域下水道事業会計予算
 - ◆条例の制定
 - 茨城県電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律施行条例を廃止する条例
 - 茨城県文化振興条例
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県県税条例の一部を改正する条例
 - 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆人事
 - 監査委員の選任について
- ◆認定
 - 平成二十六年茨城県公営企業会計決算の認定について
- ◆その他
 - 当せん金付証券の発売について
 - 県有財産の売却処分について
 - 指定管理者の指定について
 - 工事請負契約の締結について

可決された意見書・決議

- 拉致被害者の即時帰国に向け、国家に関わる全ての責任において直ちに国民に見える形で直接行動を求める決議
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 県民誰もが共に歩み幸せに暮らすことができる社会を実現する決議

採択された請願

- ◆総務企画委員会
 - 平成二十八年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願
 - 固定資産税の負担軽減に関する請願

※【原発ADR】…「原子力損害賠償紛争解決センター」のことで、原子力事故により被害を受けた方の原子力事業者に対する損害賠償請求について、円滑、迅速、かつ公正に紛争を解決することを目的として設置された公的な紛争解決機関。
※【樋管】…排水路や支川が堤防を横断して川へ流れ込む場合に、堤防の中をトンネルのように通り抜けるもの。

常任委員会の審査から

総務企画委員会

県北芸術祭開催概要発表会の県内での開催予定は県内メディアなどを対象に今年の早い時期に開催予定

問 本年秋に開催予定の茨城県北芸術祭については、昨年九月に都内で開催概要発表会を開催している。県内でも発表会を開催する必要があると考えるが、どうか。

答 県内メディアや関係団体などを対象に、本年のできるだけ早い時期に開催概要発表会を開催する予定であり、芸術祭に向けて機運の醸成に努めていく。

問 自治体・民間企業などでは昨年十二月からストレスチェックが義務化された。県では職員のメンタルヘルス対策に、どう取り組んでいるのか。

答 療養休暇後に「試し出勤」や「慣らし出勤」を実施し、職場復帰を支援している。また、県でも全職場を対象にストレスチェックを行い、予防を図っていく。

(ほかに、私学教育の振興、本県の特性を活かした企業誘致なども質問)



都内での県北芸術祭開催概要発表会の様子(平成27年9月30日)

防災環境商工委員会

災害などの危機管理で大事なことは災害に関する意識の向上が重要

問 豪雨や地震など、災害はいつでも起こり得る。県民を守るための危機管理として、何が大事であると考えるか。

答 災害対応に当たる職員の意識向上が重要であり、去る十一月には災害対応の勉強会を設置したところである。また、県民の皆様には、自主防災組織の活動などを通じて、災害はいつでも起こり得ることを理解していただきたい。

問 このほど「いばらき観光マイスター」を認定するため試験が実施されたところであるが、この制度の目的は。

答 観光客に対し、本県観光の魅力を紹介できる人材を育成することが目的である。また、マイスター認定者には、それぞれの職場でもてなし実践の模範となっていたり、期待している。

(ほかに、霞ヶ浦の水質浄化、茨城県観光振興基本計画なども質問)



自主防災組織のリーダーを育成する研修会の様子

農林水産委員会

茨城港を活用した輸出拡大を図るべきでは将来的には実現を目指したい

問 TPP大筋合意を受け、今後、茨城港常陸那珂港区を活用した農産物の輸出拡大を図るべきではないか。

答 農産物だけで輸出貨物を集めるのは難しいので、工業製品なども含めた取り組みが必要となる。まずは、北関東三県連携の取り組みを積み重ね、土木部などと連携し、将来的には常陸那珂港区からの輸出を目指したい。

問 水産分野における地産地消の取り組みとして、学校給食への活用を進めてはどうか。



船便での輸送を想定した農産物のCAコンテナ貯蔵試験

答 納入価格などの課題もあるが、幼少から魚を食べていただくことは重要であるため、関係団体と協議・検討するほか、学校の課外授業において漁協の女性部が地魚を使った加工品を提供する取り組みなどを支援していく。

(ほかに、家畜伝染病の予防対策、農業総合センターによる新品種育成なども質問)

土木企業委員会

県道谷和原筑西線の開通の見通しは平成二十七年内の開通を目指して工事を進めていく

問 平成二十七年関東・東北豪雨で被災し、通行止めとなっている県道谷和原筑西線の復旧の経緯と開通の見通しは。

答 十月十六日から復旧工事に着手し、その進捗を図ってきた。現在は路盤工事を進めており、年内の開通※を目指している。なお、二車線での復旧に支障となる物件については、早期に解決できるように市に協力しながら進めていく。

問 道路の修繕などに対する住民からの要望が多くなっているが、維持管理の予算確保に向けた考え方は。



復旧工事が進められる県道谷和原筑西線(常総市三坂町平成27年12月15日現在)

答 路面再生事業の当初予算は年々減少し、今年度は約十

(ほかに、鬼怒川緊急対策プロジェクトの実施方針、東関東自動車道水戸線の用地取得の状況なども質問)

保健福祉委員会

動物愛護における猫への対策とは猫の適正飼養について幅広く啓発していく

問 猫の飼育頭数が犬を上回るとの報道がある中、捕獲・保護された犬については、飼い主への返還や譲渡が進んでいるが、猫に対する県の具体的な対策とは。

答 平成二十五年度に動物愛護管理条例を改正し、猫の多頭飼養の届出制度や屋内飼養の努力義務を規定した。また、平成二十七年十月には猫の適正飼養ガイドラインを作成したところであり、幅広く啓発していく。

問 がんは早期発見、早期治療が大切であるが、本県のがん検診の受診率向上のための取り組みは。

答 がん予防推進員の養成や企業などと連携した受診勧奨などに取り組むとともに、実施主体の市町村に受診率向上の取り組みを働きかけていく。

(ほかに、こども病院の指定管理者の指定、不眠に対する対応なども質問)



ペットは最後まで責任を持って飼いましょう

文教警察委員会

教育委員の障害児に関する発言で信頼回復の取り組みは特別支援教育の充実にしっかりと取り組む

問 教育委員の障害児に関する発言は、県内外から多くの批判を受け、県のイメージダウンにもつながった。今後、信頼回復にどう取り組むのか。

答 学力、豊かな心、体力向上などにさらに取り組むとともに、特別支援教育の充実にも、具体的な形でしっかりと結果を残すよう、これまで以上に教育行政の推進に取り組み、信頼回復に努める。

問 平成二十八年五月のG7茨城・つくば科学技術大臣会合開催に向けた警備対策は。



サミットに向けた訓練の様子

答 昨年八月に警備対策室を立ち上げたところである。パリにおける同時多発テロなどの情勢を踏まえ、国内外要人の絶対安全確保、行事の円滑な進行の確保、テロの未然防止を基本方針として、県警の総力を挙げて取り組んでいく。

(ほかに、子供のスマホ利用のルールづくり、ニセ電話詐欺対策なども質問)

※【年内の開通】…平成27年12月18日に開通(一部区間は片側交互通行)。

地方創生に関する調査特別委員会

地方創生に関して集中的に対応していくべき取り組みなどについて提言

本委員会(飯塚秋男委員長)は、活力と潤いに満ちた郷土いばらきを創生するための諸方策についての調査・検討結果について本定例会で報告しました。

【提言した主な内容】

- 一 「ひと」の創生に関して 合計特殊出生率「二・〇七」の実現を目指し、結婚支援のさらなる充実、ワーク・ライフ・バランスの促進などを図ること
- 二 「しごと」の創生に関して 若者、女性が活躍できる働く場のさらなる創出を目指し、儲かる農業の実現、ロボット産業を始めとする未来産業の集積、「おもてなし日本一」を目指した観光振興の推進などを図ること
- 三 「まち」の創生に関して 当面の人口減少期に対応したまちの再構築を目指し、地域の特性を踏まえた拠点都市の形成、新たな「茨城型地域包括ケアシステム」の確立などを図ること



報告を行う飯塚秋男委員長

決算特別委員会

決算特別委員会(本澤徹委員長)は、平成二十七年第二回定例会で設置され、第三回定例会で付託された平成二十六年年度決算の認定議案などについて、部局ごとの部門別審査と全部局を対象とした総括審査を実施するため、計七回の委員会を開催しました。

審査の結果、予算の執行および決算は、その内容を適正なものとして認め、原案を認定および可決すべきものと決定しました。

茨城県議会改革推進会議が開催され、一回目の答申が行われました

第三回茨城県議会改革推進会議(田山東湖座長)が十一月十八日に開催され、議長に答申するための議会改革案について、全会派から選出された委員による協議が行われました。また、十一月一日には、第四回会議が開催され、答申内容が決定。同日、田山座長から細谷議長に答申書が提出されました。答申の主な内容は、次のとおりです。

- I 政務活動費の透明性の向上と県民への積極的な広報
 - (一) 政務活動費のさらなる透明性を確保するための学識経験者などによる第三者機関の設置
 - (二) 審査業務をより効果的かつ丁寧に行うための領収書などを添付した収支状況報告書(仮称)の四半期ごとの提出
 - (三) 政務活動の内容を県民に理解していただくための議会ホームページなどを活用した成果の公表
- II 議会審議・委員会審査の充実
 - 一 本会議において分割質問を行う際に再質問などに対応するための同僚議員の陪席
 - 二 議員の発言機会の充実のための年間一般質問者枠の拡大(年間二人増)、一般質問日の開議時刻の午後一時への統一
 - 三 委員会審査の充実のための定例会における常任委員会前の休会日の設定
 - 四 人事案件の十分な審議のための提案の早期化と提案理由などの充実
 - 五 委員会審査の充実のためのスマートフォンなど、IT機器の使用拡大
- III 議会広報・情報提供の充実
 - 一 議会ホームページの充実
 - (一) 県民に審査内容を広く知ってもらうための調査特別委員会・議会運営委員会の記録および議長交際費のホームページ掲載
 - (二) 多くの県民に閲覧してもらおうためのスマートフォンなどへの対応
 - 二 若者の政治離れ・選挙権年齢引き下げに対応するための県内大学・短大・高校への「県議会だより」の配布および高校生などの生徒の県議会傍聴の受け入れ促進
- IV 県民に開かれた県議会の実現のための「開かれた県議会」の推進
 - (一) 遠方の方など、傍聴が困難な県民のための出前常任委員会の開催
 - (二) 授乳室の提供など、子育て世代の傍聴者への配慮
- IV 議会広報・情報提供の充実
 - 一 議会ホームページの充実
 - (一) 県民に審査内容を広く知ってもらうための調査特別委員会・議会運営委員会の記録および議長交際費のホームページ掲載
 - (二) 多くの県民に閲覧してもらおうためのスマートフォンなどへの対応
 - 二 若者の政治離れ・選挙権年齢引き下げに対応するための県内大学・短大・高校への「県議会だより」の配布および高校生などの生徒の県議会傍聴の受け入れ促進



細谷議長に答申書を手渡す田山座長(右から6人目)

議員提案による「茨城県がん検診を推進し、がん向き合ったための県民診療条例」が可決・成立しました

近年、高齢化に伴い、がんの罹患数も増加傾向にあり、日本人の二人に一人は、一生のうち何らかのがんに罹患すると言われている。がんは「国民病」といっても過言ではない状況になってきています。

目的

県の責務や市町村、県民、保健医療福祉関係者、事業者および教育関係者の役割を明らかにするとともに、がん対策の基本となる事項を定めることにより、がんによる死亡者数を減少させ、がん患者およびその家族を支援するとともに、全ての県民ががんを罹患した後も尊厳を保ちながら安心して暮らすことができない社会を実現することを目的としています。

主な内容

〔治療についての規定〕
「治療」という言葉を、がんに関する正しい知識を習得し、自身に提供されるがん治療を決定できることについて自覚を持ち、がん治療に主体的に参画することと定義し、県民はこの参画に努めるとともに、県および保健医療福祉関係者は、県民の参画の推進または支援に努めることを規定しています。

〔県の責務〕
国、市町村、保健医療福祉関係者、事業者および教育関係者と連携を図りつつ、県民の参画の推進のために必要な環境を整え、がん対策に関する総合的な施策を策定し、実施することを規定しています。

〔県民の役割〕
がんの予防に必要な注意を払うとともに、積極的かつ定期的ながん検診を受けるよう努めることを規定しています。

〔がん検診の推進〕として、がん検診の啓発やがん検診を推進するための人材の育成、がん検診を受けやすい環境の整備のための施策を講じるほか、主要な五大がんのがん検診の受診率については、五十%以上を目指す。

〔がん予防の推進〕として、がんに関する知識の普及啓発、人材の育成に関する施策を講じるほか、受動喫煙の防止、学校において児童・生徒並びに保護者に対する普及啓発についての施策を講じる。

〔がん医療の充実〕として、がん診療連携拠点病院などにおける高度で専門的ながん医療やがん登録の推進、女性に特有のがんに関する対策や小児がん対策の推進に関する施策を講じるほか、在宅医療や緩和ケアの推進のための施策を講じる。

〔がん患者とその家族に対する支援〕として、相談支援体制の整備やがん患者の交流の場の設定など、がん患者の療養生活の質の維持向上や患者とその家族の不安を軽減させるために必要な支援を講じる。

〔がん対策を総合的かつ計画的に推進するための体制の整備や基金の設置などの必要な措置を講じるよう努める。〕

施行

この条例は、公布の日である平成二十七年十二月十八日から施行されました。(二部の規定は、本年一月一日から施行されました。)



条例の提案説明を行う常井洋治議員

特別委員会などの新人事

予算特別委員会	
委員長	菊池 敏行
副委員長	志賀 秀之
委員	飯塚 秋男、本澤 徹、横山 忠市、石田 進、石井 邦一、館 静馬、村上 典男、萩原 勇、石塚仁太郎、星田 弘司、田口 伸一、長谷川重幸、白井平八郎、飯田 智男、長谷川修平、二川 英俊、八島 功男、山中たい子、戸井田和之

情報委員会	
委員長	神達 岳志
副委員長	岡田 拓也
委員	村上 典男、島田 幸三、鈴木 定幸、安藤真理子、川口 政弥、設楽詠美子、田村けい子、上野 高志

監査委員	
県民代表の立場から適切な監査を行います。	
藤島 正孝	福地源一郎

議会運営委員会	
議会の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。	
委員長	伊沢 勝徳
副委員長	西野 一
委員	桜井 富夫、田山 東湖、山岡 恒夫

永年在職議員表彰	
十二月一日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。	
十年在職	本澤 徹 議員

常任委員会の構成

定数63人

◎印は委員長／○印は副委員長

丸数字は当選回数 ()内は所属党派

総務企画委員会

			
◎横山 忠市 ³ (いばらき自民党)	○島田 幸三 ² (いばらき自民党)	小川 一成 ⁶ (いばらき自民党)	
			
森田 悦男 ⁵ (いばらき自民党)	西野 一 ³ (いばらき自民党)	鈴木 将 ² (いばらき自民党)	磯崎 達也 ¹ (いばらき自民党)
			
川口 政弥 ² (自民県政クラブ)	長谷川修平 ⁷ (民主党)	井手 義弘 ⁶ (公明党)	江尻 加那 ¹ (日本共産党)

総務企画委員会は、11人で、税財政、市町村振興、産業立地、地域振興、情報化などに関する調査、審査します。

防災環境商工委員会

			
◎石田 進 ³ (いばらき自民党)	○下路健次郎 ² (いばらき自民党)	藤島 正孝 ⁵ (いばらき自民党)	
			
山岡 恒夫 ⁵ (いばらき自民党)	鈴木 亮寛 ³ (いばらき自民党)	星田 弘司 ² (いばらき自民党)	安藤真理子 ¹ (いばらき自民党)
			
江田 隆記 ⁷ (自民県政クラブ)	設楽詠美子 ² (民主党)	山中たい子 ³ (日本共産党)	

防災環境商工委員会は、10人で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、労働、観光などに関する調査、審査します。

保健福祉委員会

			
◎石井 邦一 ³ (いばらき自民党)	○外塚 潔 ² (いばらき自民党)	西條 昌良 ⁷ (いばらき自民党)	
			
飯塚 秋男 ⁶ (いばらき自民党)	志賀 秀之 ² (いばらき自民党)	岡田 拓也 ² (いばらき自民党)	高橋 勝則 ¹ (いばらき自民党)
			
二川 英俊 ¹ (民主党)	田村けい子 ³ (公明党)	上野 高志 ¹ (日本共産党)	戸井田和之 ³ (無所属)

保健福祉委員会は、11人で、保健、福祉、医療などに関する調査、審査します。

農林水産委員会

			
◎舘 静馬 ³ (いばらき自民党)	○中村 修 ² (いばらき自民党)	桜井 富夫 ⁷ (いばらき自民党)	
			
細谷 典幸 ⁶ (いばらき自民党)	菊池 敏行 ⁵ (いばらき自民党)	常井 洋治 ⁵ (いばらき自民党)	神達 岳志 ³ (いばらき自民党)
			
石塚仁太郎 ² (いばらき自民党)	水柿 一俊 ¹ (いばらき自民党)	飯田 智男 ² (自民県政クラブ)	八島 功男 ² (公明党)

農林水産委員会は、11人で、農業、林業、畜産業、水産業などに関する調査、審査します。

土木企業委員会

			
◎萩原 勇 ³ (いばらき自民党)	○田口 伸一 ² (いばらき自民党)	海野 透 ⁸ (いばらき自民党)	
			
葉梨 衛 ⁷ (いばらき自民党)	川津 隆 ⁵ (いばらき自民党)	本澤 徹 ⁴ (いばらき自民党)	鈴木 定幸 ² (いばらき自民党)
			
長谷川重幸 ¹ (いばらき自民党)	白井平八郎 ⁶ (自民県政クラブ)	齋藤 英彰 ² (民主党)	

土木企業委員会は、10人で、道路、河川、港湾、住宅、公園、下水道や工業用水道事業などに関する調査、審査します。

文教警察委員会

			
◎村上 典男 ³ (いばらき自民党)	○先崎 光 ² (いばらき自民党)	田山 東湖 ⁷ (いばらき自民党)	
			
白田 信夫 ⁶ (いばらき自民党)	福地源一郎 ⁴ (いばらき自民党)	伊沢 勝徳 ⁴ (いばらき自民党)	加藤 明良 ² (いばらき自民党)
			
半村 登 ⁶ (自民県政クラブ)	佐藤 光雄 ³ (民主党)	高崎 進 ³ (公明党)	

文教警察委員会は、10人で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察などに関する調査、審査します。